

平成 20 年度 新学術領域研究（研究領域提案型） 審査結果の所見

研究領域名	サンゴ礁学－複合ストレス下の生態系と人の共生・共存未来戦略－	
領域代表者名	茅根 創 （東京大学・大学院理学系研究科・教授）	
研究期間	平成 20 年度～ 24 年度	
<p><b>【科学研究費補助金審査部会における所見】</b></p> <p>本研究領域は、サンゴ礁と人間の新たな共生関係に関する学術研究領域を形成しようとする意欲的な研究領域である。サンゴ礁を、地球環境の変動や人間活動の影響などの複数の外的ストレスに対する生物学的応答性という観点から研究する点、また、サンゴ礁を環境モニター指標の一つと位置づけて、生物学、地球科学、環境学、文化人類学等の研究者が協同して取り組もうとする点は、複合領域における研究領域提案として評価できる。研究領域を形成するに十分なマネジメント体制は整っており、共生藻類に関する生物学的な研究の学術基盤も形成されつつあると思われる。海洋環境変化や地球温暖化の観点からも重要で、新学術領域研究としてふさわしい課題であると判断された。人文・社会系、理工系、生物系という複数の分野にまたがる幅広い研究領域を含む学際的研究として科学的成果を提示し、新しい学術研究領域の具体的な姿が明確に示されることを期待する。</p>		